

2016年6月23日

各 位

株式会社大京
近鉄不動産株式会社

生物多様性保全の取り組みを行う『ライオンズ港北ニュータウンローレルコート』
「ビオトープ・ふれあいの森生態系イベント」を開催
メダカの放流会&グリーンカーテン講座を実施し、
入居後も良好なコミュニティ形成を継続的に支援

株式会社大京（本社：東京都渋谷区、社長：山口陽）と近鉄不動産株式会社（本社：大阪市天王寺区、社長：赤坂秀則）が分譲した「ライオンズ港北ニュータウンローレルコート」（地上7階建て、総戸数221戸、2015年8月竣工）において、2016年5月14日（土）、管理組合が主体となり「ビオトープ・ふれあいの森生態系イベント」を開催しましたので、お知らせいたします。

今回の「ビオトープ・ふれあいの森生態系イベント」は、入居後初めて開催されたもので、入居者の方々が、マンションの緑と水に愛着を持ち、豊かな自然を大切に育み続けられること、また、ビオトープやふれあいの森が入居者間の交流の場となり、このマンションで良好なコミュニティが形成されることを願い企画した交流イベントです。

■「ビオトープ・ふれあいの森」生態系イベントの概要

開催日時：2016年5月14日（土）

開催地：ライオンズ港北ニュータウンローレルコート

参加者：ご入居者104世帯・300名（メダカ放流会）

ご入居者 91世帯・325名（グリーンカーテン講座）

《内容》

1. イベントサポーター紹介：生態系イベントをサポートする株式会社ランドスケープ・プラスおよび管理会社の大京アステージ、事業主の大京をご紹介します
2. 設計コンセプト説明：ランドスケープデザインコンセプトや協働巡回実施のご説明
3. ビオトープの生態系を成長させるためのメダカ放流会：ビオトープにてメダカの放流の他、生態系についてご説明
4. グリーンカーテン講座（希望者のみ）：グリーンカーテンの効果をご説明した後、実際に苗を植える



放流したメダカを観察する入居者たち



メダカ放流会の様子

開催日当日は、全入居者の半数近い 300 名を超える方々が参加され、ビオトープでは「メダカの放流」も行われました。また、ご希望の方にはエントランスラウンジで開催された「グリーンカーテン講座」にて、夏の冷房代節約や環境向上に役立つポイントを学んでいただきました。

ご参加いただいた方は、生態系について関心をお持ちの方も多く、今回のイベントによって、ビオトープの管理等についても理解を深めていただくことができました。また、入居者同士だけでなく、スタッフと交流する場面も多く、コミュニケーションの場となったイベントでした。



設計コンセプトのご説明



グリーンカーテン講座の様子

■イベント主催者およびイベントサポーターの想い

<ライオンズ港北ニュータウンローレルコート管理組合 理事長 小泉 周>

港北ニュータウンのグリーンマトリクスシステムを模したビオトープは、当マンションの誇るべき特徴の一つです。まだ1年足らずですが、すでに野鳥が飛来するなどしており、子供たちにとっても自然と触れ合う素敵な遊び場となっています。マンションの敷地の中で自然と共生することはチャレンジングでもあります。今回のメダカの放流をはじめ今後もイベントを企画し、子供からご年配の方まで、住民の皆さんに愛されるビオトープに育てていければと思っています。

<株式会社大京 建設管理部 担当部長 中山 雄生>

入居者の皆さまは環境に対して非常に関心が高い方が多く、今回多くの方に参加いただけたことを大変嬉しく思っています。また子供と一緒に大人も参加して、環境について楽しく学ぶ時間を共有いただき、今回の自然体験を通じて、環境教育の一環となったのではないかと実感しています。

このマンションでは、生態系をしっかりと維持し続ける環境共生の仕組みを取り入れています。自然との共生」と一言でいっても、実際には色々難しい面もあります。例えばビオトープ・ふれあいの森では井戸を利用していますが、天候など自然の状況に左右され水量が不安定になったり、需要に合わせて供給できないこともあります。しかし、そうした自然の難しい面もしっかりと受け止めながら、いかに自然環境と向き合っていくかを入居者の皆さんと一緒に考え、持続可能な社会作りをめざしていく事が大切だと考えています。今後も皆さんにこのマンションの水と緑に愛着をもって、大事にしていこうと思っていただけるよう、こうした取り組みを継続したいと思っています。

<株式会社ランドスケープ・プラス 代表取締役 平賀 達也>

港北ニュータウンは、地域の自然資本を街づくりの骨格に据えた「グリーンマトリクス」によって、都市と自然が共生する街づくりを進めてきました。ライオンズ港北ニュータウンローレルコートでは、地域の社会資本ともいえる「グリーンマトリクス」を更に進化させるため、マンション内に「ミニグリーンマトリクス」を創出し、都市と自然のつながりを超えて、自然と人間のつながりを創造する「グリーン&ヒューマンマトリクス」の実現を目指しています。この次世代型環境共生住宅を実現するため、私たちは、ランドスケープの専門家としてマンション内における自然環境の管理運営に携わりながら、不動産価値の向上やマンションコミュニティの醸成を支援してまいります。

■参加者の声

- ・子供と一緒に参加したのですが、ヤゴを実際に見たのは私自身も初めてでした。このような自然がマンション内にあると、日常的に自然と触れ合うことができ、子供たちの環境教育にいいのはもちろんですが、大人にとっても新しい発見があったり、一緒に学ぶことができ、とても気に入っています。
- ・設計コンセプトや生態系について丁寧に分かりやすく説明してくださったおかげで、この取り組みがとても意義のあるということがよく分かりました。今後のプログラムにも是非積極的に参加したいです。
- ・普段なかなか入居者同士で気軽に話が出来る機会はないのでとても良い体験となりました。また子供たちにメダカと触れ合う機会をつくってあげることができ、とても嬉しく感じています。
- ・以前からグリーンカーテンを育ててみたいと思っていたので、今回の機会を利用して良かったです。グリーンカーテンの効果の説明も分かりやすかったです。今夏にグリーンカーテンの効果を体感出来るか楽しみです。



メダカと触れ合う親子



ビオトープ前にて生態系のご説明

■ライオンズ港北ニュータウンローレルコート[®]の都市と自然が共生する街づくり

当物件の植栽計画は、港北ニュータウンの魅力である自然豊かな美しい景観をマンションに再現するため、「グリーンマトリックス」^{※1}の手法を取り入れた風景を敷地内に再現し、緑・水・光・風の自然の恵みを生かして雄大な自然環境の創出を試みました。

具体的にはランドスケープはゆとりある配棟とし、ビオトープ（生物生息空間）や遊歩道を敷地内に設け、中庭や広場を有機的につなぐ緑道には約 3,700本の四季を彩る植栽を施すことで、美しく調和した港北ニュータウンらしい自然風景を織りなすように計画しました。また、機械式駐車場の壁面や駐輪場の屋根などを可能な限り緑化し、敷地の緑化率を30%以上に高めました。



※1. 街づくりの基本方針をもとに、地区内の緑道を骨格として、樹林帯や緑地などを連結させ、雄大な自然を保護し、歩行時及び防災時の安全性を高める機能をもつシステム

■今後の入居者交流イベントスケジュールについて

「ライオンズ港北ニュータウンローレルコート」では、管理組合に「ビオトープ担当理事」を選任し、専門家による植栽とビオトープの「環境調査」や「協働巡回」に同行していただき、翌年以降の植栽維持管理（植栽の育成管理指針および生態系の持続的成長を促す管理指針）を立案していきます。また、入居者の中から希望者を募り、活動に参加していただく予定です。

その他、「メダカ・ヌマエビ等の放流会」や「グリーンデイ」（草取りや清掃活動等）といった各種イベントも企画していきます。

<ビオトープ・ふれあいの森 維持活動内容>



<「いきもの共生事業所認証」取得物件>

上記の取り組みが評価され、「ライオンズ港北ニュータウンローレルコート」は2015年2月、生物多様性に配慮した施設に与えられる「いきもの共生事業所認証」*を取得いたしました。

*自然と人との共生を企業活動において推進することを目的に作られた認証制度。一般社団法人いきもの共生事業推進協議会（ABINC）が第三者的に評価・認証を実施

■「ライオンズ港北ニュータウンローレルコート」の物件概要

- ・所在地：神奈川県横浜市都筑区北山田5丁目17番27（住居表示）
- ・交通：横浜市営地下鉄グリーンライン「北山田」駅より徒歩12分
- ・規模・構造：鉄筋コンクリート造、地下1階、地上7階建
- ・総戸数：221戸（住戸）
- ・敷地面積：8,614.82㎡
- ・間取り：2LDK+S、3LDK、4LDK
- ・竣工日：2015年8月24日
- ・入居開始日：2015年8月31日
- ・基本設計：株式会社IAO竹田設計
- ・設計・監理：三井住友建設株式会社一級建築士事務所
- ・ランドスケープデザイン：株式会社ランドスケープ・プラス
- ・施工：三井住友建設株式会社 横浜支店
- ・売主：株式会社大京 本店・近鉄不動産株式会社 首都圏事業本部
- ・販売状況：分譲済

■会社概要

<株式会社大京>

- ・本社所在地：東京都渋谷区千駄ヶ谷4-24-13
- ・代表者：代表執行役社長 山口 陽
- ・設立：1964年12月
- ・資本金：411億71百万円
- ・事業内容：不動産開発、不動産販売、都市開発

<近鉄不動産株式会社>

- ・本社所在地：大阪市天王寺区上本町6-5-13
- ・代表者：取締役社長 赤坂 秀則
- ・創業：1968年4月
- ・資本金：120億90百万円
- ・事業内容：分譲マンション、戸建・宅地分譲、注文住宅請負、不動産仲介、不動産鑑定評価、リフォーム、ゴルフ場、オフィスビル、商業施設運営・管理、駐車場事業、高架下事業

■参考資料

<2013年11月27日発表資料>

パッシブとスマートを融合した次世代環境共生住宅『ライオンズ港北ニュータウンローレルコート』
「スマートマンション導入加速化推進事業」4つ星採択プロジェクト販売開始

URL : <http://www.daikyo.co.jp/dev/files/20131127.pdf>

<2015年2月26日発表資料>

生物多様性に配慮した施設評価「いきもの共生事業所認証®」
『ライオンズ港北ニュータウンローレルコート』が集合住宅として初取得

URL : http://www.daikyo.co.jp/dev/files/20150226_2.pdf

<2015年5月27日発表資料>

『ライオンズ港北ニュータウンローレルコート』

入居予定者による「植樹祭」を開催

愛着のわく「ふれあいの森」育成プロジェクトを通じて、
良好なコミュニティ形成の支援スタート

URL : <http://www.daikyo.co.jp/dev/files/20150527.pdf>



敷地イメージ図